

令和5年度多摩市小学校教育研究会理科部の研究について

1 研究主題

「自然の事物・現象に主体的に関わり、進んで問題を解決しようとする児童の育成」

2 研究主題 設定の理由

多摩市は、市内に多摩丘陵や多摩川などがあり、自然環境が豊かである。児童はその環境の中で自然を身近に感じながら育っているため、理科の学習に関しても意欲的に取り組む姿が見られる。しかしながら、自分で問題を見いだして調べていったり、考えをもって追究していったりすることには、大きな個人差が見られる。どの児童も理科の学習において、主体的に問題を解決していくような児童になってほしいと考え、多摩市小学校教育研究会理科部では、上記のような研究主題を設定した。

具体的には、昨年度、児童が進んで問題解決をしたいと思えるような事象提示の工夫を行い、問題づくりの場面を中心に研究に取り組んできた。今年度は昨年度の研究を土台に、様々な学習場面での主体的な学びについてICT機器の効果的な活用や実験・観察方法の工夫を中心に研究を進めていくこととした。

3 研究の計画と経過（令和5年度）

月	日	活動内容
5	17	研究主題・方針の確認 分科会確定 研究授業についての意見交流
6	14	研究授業に向けての準備 教材研究
8	28	研究授業に向けての準備 教材研究
9	13	研究授業① 中学年分科会 4年 「星や月 月と星の位置の変化」 講師：筑波大学附属小学校 辻 健 先生 月の観察結果から、月の位置の変わり方について、複数のデータを基に、より妥当な考えを作り出していく授業を行った。月の位置の観察では、結果をカードに記録する際、児童が方位や高さを正確に記録することが難しいという課題がある。解決手段として、観察の時にビニール傘に結果を記録するようにした。月の位置を見たまま正確に記録できるという良さがあった。
10	11	研究授業に向けての準備 研究授業のまとめ
11	15	研究授業② 高学年分科会 6年 「てこのはたらき」 講師：東京学芸大学附属小金井小学校 三井寿哉先生
1	17	研究の振り返り・まとめ 研究紀要の作成
2	7	研究発表会